

機械器具 1 7 血液検査用器具
一般医療機器 検体前処理装置
特定保守管理医療機器 JMDN コード 38757000

販売名 ライカ ASP6025

【警告】*

- 必ず接地端子付きコンセントに接続すること。
- 延長コードは使用しないこと。
- レトリートは危険な試薬や蒸気を含むことがある。レトリートを開ける際は必ず適切な防護服及びメガネを着用し、換気を十分に行うこと。
- パラフィン溶解ステーションを開けるときは、火傷をする可能性があるため、手袋をして、慎重にゆっくりと開けること。
- 機器の損傷を防ぐために、取扱説明書に記載してある試薬を使用すること。
- 試薬を取り扱う場合は、適切な保護メガネや保護衣服を着用すること。
- 処理を開始する前に必ず試薬ボトルの充填レベルを点検し、必要に応じて補充すること。

【禁忌・禁止】 [不具合・有害事象の発生の恐れがある]

- 保守及び修理作業は、ライカマイクロシステムズ社が認定した専任の技術者のみが実施すること。
- 保守及び修理の際は、必ずライカマイクロシステムズ社の純正部品を使用すること。

【形状・構造及び原理等】**

本品は、本体内にレトリート、試薬キャビネット、パラフィン槽、パラフィン溶解ステーションを装備して構成されている。また、本品の構成部品または構成部品を単品として個別に輸入、流通させることがある。

旧バージョン



新バージョン



寸法：750 (W) × 1500 (H) × 680 (D) mm (±10%)

乾燥重量：210kg (±10%)

消費電力：120V (50Hz/60Hz)、1700 VA

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による分類：B 形機器

【使用目的又は効果】

本品は試料の前処理装置である。

【使用方法等】

使用方法

- コンセントに電源ケーブルを挿入し、電源をオンにする。
- プログラムメニューからプログラムを選択する。カセットを準備しバスケットに設置する。
- プログラムを実行する。
- プログラムが終了したら、クリーニングプログラムからレトリートのクリーニングプログラムを選択して洗浄する。
- ソフトウェアをシャットダウンする。
- タッチスクリーンの表示が消えてから、電源ボタンを OFF にする。
- メインソケットで電源をオフにし、電源ケーブルを取り外す。

【使用方法に関連する使用上の注意】

■使用前の注意事項

- 長期期間使用していない場合、または長距離を移動した場合はスマートクリーニングを実行する。

■使用中の注意事項

- 電源異常を検出した場合、ヒーターとモニターの電源をただちに切ること。
- ステータス画面のプロトコルで進捗を確認する。
- 組織試料の状態をチェックする。

■使用後の注意事項

- レトリートにパラフィンを入れた後は必ずクリーニングプロトコルを実行すること。

【使用上の注意】

■重要な基本的注意

- 取扱説明書を熟読し、十分な経験を積んだ者以外は本システムの操作を行わないこと。
- 本システム付属品、アクセサリをしっかりと固定すること。
- 本システムの改造を行わないこと。
- 本システムは必ず定期点検を行うこと。ライカマイクロシステムズ（株）は、当社認定エンジニアによる点検を少なくとも年一回推奨する。
- 試薬を交換する場合は新しい試薬を使用すること。

【保管方法及び有効期間等】*

■耐用期間

正規の保守点検を行った場合に限り、製造出荷後 7 年〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

■使用者による保守点検事項

- 自動食器洗い機では試薬ボトルを洗わないこと。
- 機器のそばに化学薬品を保管しないこと。
- 機器に油脂が付着しないようにすること。機械部品に油を差さないこと。
- クリーニングにアセトンを含む溶媒を使用しないこと。
- しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。
- メンテナンスする際は、電源を OFF にして電源コードをはずすこと。
- 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- 保守及び点検の後は、ライカマイクロシステムズ社の技術仕様に従って機器を再調整すること。

■業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
各部の清掃	12 ヶ月以内	外装部清掃 内部清掃
機能及び 安全性確認	12 ヶ月以内	プログラム設定後、初期化動作確認

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

ライカマイクロシステムズ株式会社

製造業者：

Leica Biosystems Nussloch GmbH（ドイツ）

【取扱説明書を必ずご参照ください】